

2012年～2013年度

クラブ活動計画書

Peace
through Service
奉仕を通じて平和を

国際ロータリー第2500地区

釧路ロータリークラブ

会 長 伊 貝 正 志

幹 事 邵 龍 珍



2012～2013年度

2012～2013年度 役員・理事名簿

会 長	伊 貝 正 志	理 事	伊 貝 正 志
副 会 長	川 本 和 之	〃	川 本 和 之
幹 事	邵 龍 珍	〃	邵 龍 珍
S A A	川 合 隆 俊	〃	川 合 隆 俊
会 計	矢 澤 武 彦	〃	矢 澤 武 彦
会長エレクト	吉 田 秀 俊	〃	五 明 正 吉
副 S A A	武 藤 勝 治	〃	吉 田 秀 俊
副 幹 事	土 橋 賢 一	〃	関 向 一
副 幹 事	樋 口 貴 広	〃	栗 林 定 正
直 前 会 長	五 明 正 吉	〃	宮 原 邦 彰
会 計 監 査	青 田 敏 治	〃	反 保 裕 文

2012～2013年度 日本地区委員

ロータリーコーディネーター補佐	小船井 修 一
規定審議会 地区代表幹事	小船井 修 一

2012～2013年度 第2500地区委員

地 区 諮 問 委 員	清 水 幸 彦
意義ある業績賞委員長	清 水 幸 彦
地 区 諮 問 委 員	小船井 修 一
地区研修委員会リーダー	小船井 修 一
ロータリー財団委員会委員長	小船井 修 一
姉 妹 地 区 委 員	邵 龍 珍
会 員 増 強 委 員	遠 山 秀 樹
イ ン タ ー ア ク ト 委 員	伊 藤 彰 芳



会長基本方針

2012－2013年度

会長 伊 貝 正 志

『奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成』

私は1996年（平成8年）6月27日、釧路ロータリーに入会し16年目の会員です。

入会6年目の2002－03年度（平成14－15年度）が小船井修一地区ガバナーの誕生した年です。この折にガバナー事務局広報担当の地区副幹事という職責をいただきました。事務局長が川口雄大先輩で、多くのロータリーの知識を頂いた中に「超我の奉仕」「Service Above Self」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「He Profits Most Who Serves best」という聞きなれない文言を耳にしました。「ちょうが」ってどのような字を書くのですかと聞き直したほどです。（広辞苑にも有りません。訳者の造語と思われます）

ただ何ともいえない心地よい響きの語感が脳裏に残った事を覚えています。更に1989年規定審議会において、決議89－145により、「超我の奉仕」がR Iの第一標語に定められたことも知りました。私はロータリー以外の場面であえてこの言葉を引用しロータリーの精神を婉曲的にアピールしています。なぜなら人生哲学がこの5文字に凝縮されていると考えるからです。

この度の田中作次R I会長は日本人で3人目の会長です。田中R I会長は先の小船井ガバナー年度に二度釧路においでになっています。一度目は9月1日にR I理事エレクトの立場で地区財団セミナーの講師を、二度目は10月5日・6日地区大会にR I会長代理の肩書で来釧されています。このご縁で小船井パストガバナーは田中作次R I会長と太い絆で結ばれている関係にあり、最大限の協力をとの思いが察しられます。清水・小船井パストガバナー二名と第2500地区最大会員数を有する釧路ロータリークラブとしてのサポートが大事なことは言うまでもありません。そうすることが田中作次R I会長への返礼に成り、当クラブとしても充実した一年に成ると確信するからです。

ロータリーは性善説に立脚した奉仕の心が全てと考えます。奉仕の心を持ち、行動し、目標を達成し喜びを感受しましょう。

“ロータリーの心は奉仕です。奉仕の胞子を育てよう。”

★釧路ロータリークラブ今年度テーマ

『奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成』

今年度目標

【クラブのサポートと強化】

1. 会員増強……地区で掲げる純増3%達成目標
2. 会長賞へのチャレンジ（7月1日～3月31日までに実施）

【人道的奉仕の重点化と増加】

3. 国際奉仕に繋がる寄付への実践
 - ・財団の年次基金へ「毎年あなたも100ドルを」達成計画
 - ・マッチング・グラントの検討
4. 未来の夢計画2013年7月スタートの啓蒙
5. 「2013ロータリー世界平和フォーラム広島」への協力

【公共イメージと認知度の向上】

6. 職業奉仕……クラブ内会員企業を理解し相互利用を図ろう

★田中作次RⅠ会長テーマ

『奉仕を通じて平和を』 “Peace through Service”

RⅠ戦略計画（地区内クラブへの要望）

1. クラブのサポートと強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上

★櫻田正弘ガバナー地区テーマ

『心と心、笑顔と笑顔 今 奉仕のために行動を起こそう』

“Heart to Heart Smile to Smile Now, Action for Service”

クラブ概況及び会務方針

幹 事 邵 龍 珍

クラブの定款・細則に基づき、会長方針に従い、各委員会との連絡を密にして、会員各位のご協力とご指導を頂きながら、クラブ運営が円滑に進行できるように努力致します。

1. 会員数と内訳（6月7日現在）

会員数	96名		
正会員	94名	名誉会員	2名

2. 会員の年齢

会員の平均年齢	57歳
最年長会員の年齢	90歳
最年少会員の年齢	34歳

年齢別分布状況

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	大正生	昭和生
0	4	21	30	30	7	3	1	1	95

3. 会員のクラブ在籍年数の分布

1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	25年以上	平均在籍年数
9名	9名	9名	4名	5名	13名	13名	6名	13名	15名	13年

4. クラブの財政

- イ) クラブの財政は全て予算に基づいて運営する。
- ロ) 会費は年額150,000円とし上期と下期にそれぞれ75,000円を納入する。
- ハ) 新入会員は、入会時に入会金30,000円を納入する。
- ニ) ニコニコ献金は200万円を目標額とする。

5. 理事会

理事会は理事9名と会長エレクトと直前会長より構成し、毎月定例理事会を開く。

6. 委員会活動

委員会の構成及び活動計画は別項の通りとする。活動計画事業の実施に当たっては全会員の参加協力によるものとする。

7. クラブ協議会

第1回 6月7日(木) 活動計画書(案) 討議

第2回 7月5日(木) ガバナーによるクラブ協議会及び、ガバナー公式訪問

第3回 1月17日(木) 上期活動報告、下期活動計画

第4回 6月13日(木) 下期活動報告

8. 総 会

12月6日(木) 年次総会

9. クラブフォーラム及び情報集会

クラブフォーラムは年4回開催し、情報集会は適時開催する。

10. 適時行われる第7分区内会長・幹事会に出席し、各クラブとの連携を密にし、親睦を深め共同で行う活動があればその都度検討する。

11. クラブに関する資料の作成

釧路ロータリークラブの会員名簿、会員の歴代所属委員会、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリスフェロー名簿、またクラブ創立以来の年表的なものを作成する。

12. 例 会

イ) 例会は毎週木曜日、12時30分より13時30分までとする。

ロ) ビジターフィーは2,000円とする。

ハ) 例会は禁煙とする。

ニ) 年末家族会は12月13日(木)とする。

新年交礼会は1月10日(木)とする。

最終例会(キャンドルパーティー)は6月27日(木)とする。

ホ) 新入会員歓迎会を上期、下期各1回開催する。

13. そ の 他

イ) 10月5日(金)から10月7日(日)まで北見東RC主幹の「第2500地区大会」に支援・参加する。

ロ) ロータリアンの家族を含めた例会及び事業を適時開催する。

ハ) アイスホッケーの「ロータリーカップ」、「全道中学硬式親善野球大会(釧路大会)」等の新世代奉仕事業を支援する。

ニ) マッチンググランドによる、国際奉仕事業を試みる。

ホ) 財団の年次基金「あなたも100ドルを」を目標に努力する。

ヘ) 櫻田ガバナー要請の「ロータリー世界平和フォーラム広島大会」への協力金を拠出する。

2012～2013年度 委員会名簿

会	長	理 事	伊 貝 正 志	ク ラ ブ 運 営 委 員 長	理 事	関 向 一
副 会	長	理 事	川 本 和 之	クラブ広報・会員組織委員長	理 事	栗 林 定 正
幹	事	理 事	邵 龍 珍	奉仕プロジェクト委員長	理 事	宮 原 邦 彰
S A	A	理 事	川 合 隆 俊	ロータリー財団・奨学推進委員長	理 事	反 保 裕 文
会	計	理 事	矢 澤 武 彦	副 S A A		武 藤 勝 治
会 計 監 査			青 田 敏 治	副 幹 事		土 橋 賢 一
直 前 会	長	理 事	五 明 正 吉	副 幹 事		樋 口 貴 広
会 長 エ レ ク ト	理 事	吉 田 秀 俊				

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員		
ク ラ ブ 運 営 委 員 会	関 向 一	青 田 敏 治			
出 席 委 員 会	清 水 輝 彦	及 川 雅 順	荒 井 剛	松 並 弘 宜	
親 睦 活 動 委 員 会	土 田 哲 也	浅 野 洋	杉 村 莊 平	小 高 新 吾	佐 藤 尚 彦
		大 津 久 幸	菅 原 顯 史	水 口 淨	白 崎 義 章
			打 矢 静 司		
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	村 田 哲 久	木 村 博 史	清 水 幸 彦	小 川 一 典	吉 田 潤 司
			片 桐 典 行		
ク ラ ブ 広 報 ・ 会 員 組 織 委 員 会	栗 林 定 正	高 橋 直 人			
ク ラ ブ 会 報 ・ 雑 誌 委 員 会	工 藤 彦 夫	後 藤 公 貴	中 村 幸 史	伊 藤 彰 芳	束 本 哲 郎
			坂 上 功	古 屋 英 昭	
会 員 増 強 委 員 会	斉 藤 俊 也	西 村 智 久	遠 山 秀 樹	甲 賀 伸 彦	梁 瀬 之 弘
			前 田 秀 幸		
職 業 分 類 ・ 会 員 選 考 委 員	久 島 貞 一	木 村 豊 年	佐 藤 茂 良	佐 藤 優	
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	尾 越 弘 典	五 明 正 吉	白 幡 博		
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 会	宮 原 邦 彰	天 方 智 順			
社 会 奉 仕 委 員 会	中 井 理 文	泉 敬	小 野 寺 寛 隆	平 澤 秀 樹	
職 業 奉 仕 委 員 会	田 中 正 己	黒 田 恒 史	木 下 正 明	小 田 静 司	水 野 哲
国 際 奉 仕 委 員 会	舟 木 博	脇 弘 幸	谷 川 富 成	齋 藤 史 行	
新 世 代 奉 仕 委 員 会	登 坂 康 弘	浅 川 正 紳	米 本 富 夫	三 浦 仁 嗣	小 船 井 修 一
			大 道 光 肇		
ロ ー タ リ ー 財 団 ・ 奨 学 推 進 委 員 会	反 保 裕 文	武 石 光 樹			
ロ ー タ リ ー 財 団 寄 付 推 進 委 員 会	石 田 博 司	下 川 部 善 彦	山 本 壽 福	石 井 宏 昌	稲 澤 優
米 山 記 念 奨 学 会 委 員 会	本 間 榮 一	栗 林 延 次	山 下 義 則	山 下 幸 太 郎	
嵯 峨 記 念 育 英 会	滝 越 康 雄	浅 川 一 一	栗 林 定 徳	吹 谷 浩 康	乗 山 徹

2012年～2013年度 釧路ロータリークラブ各委員会活動計画書

クラブ運営委員会

委員長 関 向 一

副委員長 青 田 敏 治

本年度、田中作次R I 会長は「奉仕を通じて平和を」 櫻田正弘地区ガバナーは「心と心、笑顔と笑顔 今 奉仕のために行動を起こそう」 釧路ロータリークラブ会長はこれらの基本方針に沿いながら 所属委員会の活動範囲を拡大し会員の出席率を高め、親睦活動委員会は奉仕の心を持ち、会員の親睦、地域や家庭との親密な関係をとれるよう努力し、また硬軟織り交ぜた楽しい例会になる様プログラム作りをしたいと考えております。

会員の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

【出席委員会】

委員長 清水 輝彦

副委員長 及川 雅順

委員 荒井 剛 松 並弘 宜

“会員はクラブ例会に出席することが義務である”という、ある意味あたりまえのことが入会当初とても新鮮に聴こえ納得したものでした。ところで出席に関しての問題は端的に言えば“出席しない”あるいは“出来ない（と思っている）”会員にいかに参加していただくか、あるいは例会に引っ張り出すか、ではないかと思います。会員皆さんは「奉仕の心」をお持ちのはず、実際に行動し、奉仕の達成を分かち合いたいと思います。そこで出席委員会では出席率向上を目指して以下の項目を重点に活動を行おうと考えています。

1. クラブ運営委員会の各委員会との連携を密にして、興味関心を引き付ける魅力ある例会プログラムのもとで前年以上の出席率をめざします。
2. 予定されている各行事を積極的にアピールするとともに、出席の少ない会員に対しては節度を持って電話などで直接お話しして参加をお誘いします。
3. 久しぶりに参加された会員を暖かく迎え、声をかけて“来てよかった”と思えるような雰囲気作り及び働きかけを行います。
4. メークアップを活用し出席率向上を図ります。そのためにはメークアップの方法を改めて周知させるとともに、特に出席の少ない会員については積極的に案内し、メークアップ参加時に孤立しないようサポートも行います。
5. 出席率の計算・集計は迅速に行い例会にて報告するとともに、3ヵ月ごとに各会員の累積出席率を計算・公表して各会員の参加意識の向上を図ります。

【親睦活動委員会】

委員長	土田哲也		
副委員長	浅野洋	大津久幸	
委員	打矢静司	白崎義章	
	杉村莊平	菅原顯史	
	佐藤尚彦	小高新吾	
	水口淨		

ロータリーの基本的理念である「奉仕」が今年度の会長方針のテーマの根底にあります。
当委員会としては、ロータリークラブ活動の源であります「親睦」をより一層深めるために、
各種行事を通じ、会員およびその家族との親睦と相互の友好関係を図ると同時に、「奉仕の心」
が感じられる活動を各委員会と密接に連携しながら実施していきたいと思ひます。
会員皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. クラブ来訪者への取り組み

- (1) SAAと連携し、来訪者を心温かくお迎えいたします。
- (2) 道外からの来訪者には、バナーを贈呈いたします。

2. 例会会場の座席配列

会員相互の交流が一層図られるよう、座席配列につきまして各会員のご協力のもと工夫してまいります。

3. 記念品の贈呈

会員およびご夫人の誕生日、結婚記念日、入会記念日に心のこもった記念品を贈ります。

4. 年間行事予定

- (1) 納涼ビアパーティ（7月）
- (2) 野遊会（9月）
- (3) 新入会員歓迎会（10月、4月）
- (4) 年末家族会（12月）
- (5) 新年交礼会（1月）
- (6) キャンドルパーティ（6月）
- (7) その他親睦に関する行事

5. ニコニコ献金の目標

会員皆様方のご協力をお願いし、目標額を達成いたします。

【プログラム委員会】

委員長 村 田 哲 久

副委員長 木 村 博 史

委 員 清 水 幸 彦 吉 田 潤 司

小 川 一 典 片 桐 典 行

今年度の会長基本方針「奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成」に基づき、プログラムの充実を図って参りたいと思います。

具体的には、以下のポイントを中心に各委員会と連携しながら、楽しく有意義な例会となるよう創意工夫して参りたいと考えております。

《活動のポイント》

1. 会員の相互理解と親睦を深める

会員卓話により会員の本業の紹介や業界動向のお話をいただくとともに、フリートーク例会等の交流の場を通じて、会員の相互理解と親睦を図るよう努めます。

2. ロータリーへの理解を深める

各委員会活動や地区活動の報告等を通じて、ロータリー全体の活動状況についての会員の理解をより深めるよう努めます。

3. 地域社会との交流を深める

地域社会における課題に即したタイムリーなテーマについての卓話等を通じて、地域社会との交流をより深め、ロータリーの認知度の向上を図り、ひいては地域への奉仕につながるプログラム編成に努めます。

以上について、充実した企画とすべく委員会が一丸となって取り組んで参りますので、各委員会、会員の皆様にはご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

★2012～2013年度 例会予定★

月	日	テーマ	担当	備考（講師）
7	5	クラブ協議会・ガバナー公式訪問	幹事	
	12	ガバナー補佐・各クラブ会長挨拶	幹事	
	19	会長・副会長・幹事・四大委員長挨拶	幹事	
	26	納涼ビアパーティー（夜間）	親睦	
8	2	自然災害に関する情報の利用（仮）	○	水野釧路气象台長
	9	フリートーク例会	○	■会員拡大月間
	16	休会（お盆）		
	23	会員増強及び拡大月間にちなんで	会員増強	
	25	ロータリーカップ観戦移動例会	新世代奉仕	〔30日の振替例会〕
9	6	タブレット端末の活用法（仮）	○	N T T ドコモ釧路支店
	13	ロータリーカップ報告会	新世代奉仕	■新世代のための月間
	20	ライラセミナー報告会	新世代奉仕	
	27	職場訪問例会	職業奉仕	
10	4	新入会員歓迎例会（夜間）	口情・親睦	■米山月間 ●5～7日（金～日）地区大会（北見）
	11	地区大会報告会	幹事	
	18	米山月間にちなんで	米山記念	
	25	釧路地域の景況感と今後の展望（仮）	○	日銀釧路支店長 小高会員
11	1		○	■ロータリー財団月間 ●情報集会
	8		○	
	15	ロータリー財団月間にちなんで	ロー財団	
	22	クラブ創立記念（23日）にあたって	理事会	
	29	情報集会報告会	ロー情報	
12	6	年次総会・フリートーク例会	幹事・○	■ロータリー家族月間
	13	年末クリスマス家族会（夜間）	親睦	
	20		○	
	27	休会（年末始）		
1	3	休会（年末始）		■ロータリー理解推進月間
	10	新年交礼会（夜間）	親睦	
	17	上期を振り返って（会長・副会長・幹事・四大委員長）	幹事	
	24	年男おおいに語る	○	
	31	釧路市長講話（仮）	○	
2	7	節分にちなんで・フリートーク例会	理事会・○	■世界理解月間
	14	新入会員卓話リレー	○	
	21		国際奉仕	
	28	J R 釧路支社の取り組み（仮）	○	J R 釧路支社長
3	7		○	■識字率向上月間 ●16日（土）I M
	14	嵯峨記念奨学生卒業報告会	嵯峨記念	
	21	職場訪問例会（夜間）	職業情報・親睦	福司酒造
	28	釧路市副市長講話（仮）	○	小松副市長
4	4		○	
	11	新入会員歓迎会（夜間）	親睦	
	18		○	
	25	P E T S に参加して	幹事	
5	2	休会		
	9		社会奉仕	●情報集会
	16	N H K 釧路放送局の取り組み（仮）	○	N H K 釧路放送局長 大津会員
	23		○	
	30	情報集会報告会	ロー情報	
6	6	クラブアッセンブリー	次年度三役	■ロータリー親睦活動月間
	13	1年を振り返って（四大委員長）	幹事	
	20	1年を振り返って（会長・副会長・幹事）	幹事	
	27	キャンドルパーティー（夜間）	親睦	

担当欄の○は内容が決まっていないプログラム委員会担当例会（他委員会に振る分も含む）

クラブ広報・会員組織委員会

委員長 栗 林 定 正

副委員長 高 橋 直 人

今年度、田中作次R I会長のテーマであります『奉仕を通じて平和を』の想いと櫻田ガバナーの『心と心、笑顔と笑顔 今 奉仕のために行動を起こそう』という地区の目標を受け止めた中で、伊貝会長の基本方針『奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成』を委員会メンバーそれぞれの力を結集し実践していく所存です。

クラブ広報・会員組織というロータリークラブの内外に働きかける委員会として、地域の人々にロータリー活動の理解を深めて頂くこと、それによってロータリー活動に賛同し活動がより多くの人々へ円滑に浸透される一助となること、同じ目標に向かって活動する仲間を拡大していくこと。これらを主眼に置き、委員会活動に邁進してまいります。

会員皆様の温かいご支援とご協力の程、よろしくお願い致します。

【クラブ会報・雑誌委員会】

委員長 工 藤 彦 夫

副委員長 後 藤 公 貴

委 員 中 村 幸 史 伊 藤 彰 芳

東 本 哲 郎 坂 上 功

古 屋 英 昭

2000年8月2日より掲載を始めた、釧路ロータリークラブのホームページも今年度で12年目を迎えます。また、8年前からは例会報告の手段として、ホームページを利用してきました。

その間、約10万回を超えるアクセスがあり、当ロータリーの会報の役目と共に、対外的に広報活動の一助となったと考えます。

そこで、本年度はさらに読みやすく、わかりやすい、かつ、楽しい掲載を心がけたホームページとします。さらには誰でも更新できるホームページを目指します。

また、会長方針である「奉仕の心、奉仕の行動、奉仕の達成」に基づいた広報・会報活動を心がけます。

そして、当クラブの歴史が少しでもわかるようなコンテンツを設けると共に「ロータリージャパン」や地区のウェブサイトへリンクしやすいホームページをつくります。

さらに、事務局と連携し、メールを通じて会員相互の連絡等を密にできるよう普及に努めていきたいと思います。

（実施要領）

1. ホームページでの例会報告、例会・委員会等の案内
2. ホームページの管理、更新、運営
3. ホームページを利用できない会員のためのプリントアウト。
4. 新規コンテンツの作成

【会員増強委員会】

委員長	齊藤俊也		
副委員長	西村智久		
委員	遠山秀樹	甲賀伸彦	
	梁瀬之弘	前田秀幸	

会員増強はクラブ運営にとって大変重要です。現会員数維持のための退会防止と新会員入会に努力いたします。

多くの仲間を増やし会長方針でもある「奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成」に賛同していただくよう努めたいと考えます。

会員皆様のご協力のもと例会を通して、地区ガバナー方針でもあります、会員3%増の達成を目指します。

会員皆様のご協力を心からお願い致します。

【職業分類・会員選考委員会】

委員長	久島貞一		
副委員長	木村豊年		
委員	佐藤茂良	佐藤優	

1. 今年度会長基本方針に掲げられております、地区の目標と連動した純増3%の達成に対し適正な会員選考を心掛けます。
2. 時代に沿った職業分類の区分を念頭に置き、適正化を図ります。
3. 推薦された会員が「奉仕の心を持ち、行動し、目標を達成し喜びを感受する」環境を整え、会員と共有できるよう配慮を保ち、選考致します。
4. 会員増強委員会並びにロータリー情報委員会と連携し、会員の増強と質の向上に努めます。

【ロータリー情報委員会】

委員長 尾 越 弘 典

副委員長 五 明 正 吉

委 員 白 幡 博

当委員会は、会員（特に新入会員）にロータリーの特典・責務に関して、適切な理解を与え
ると共に、ロータリーの歴史や伝統、ロータリーの方針・手続、奉仕の機会に関する情報を提
供することを基本方針とし、次の具体的な活動を関係委員会との協力を得て実施する。

1. ロータリーに関する知識や情報を提供し、新会員（3年以内の新入会員）と経験のある会
員とのコミュニケーションを図る。
2. 新入会員に早くクラブに溶け込んで頂く為の機会を計画する。（新入会員歓迎会を前期・後
期各1回）
3. 地区大会、地区協議会、IM、その他の会合などに会員、特に新入会員及び在籍年数の浅
い会員の参加勧誘に努める。
4. 例会、情報集会（前期、後期各1回）、クラブフォーラム等を通じてロータリー情報を提供
する。
5. 新入会員の入会前のオリエンテーションを実施し、推薦会員に新入会員への情報提供を行
うようにすすめる。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 宮 原 邦 彰

副委員長 天 方 智 順

奉仕プロジェクト委員会は、田中作次R I 会長のテーマである「奉仕を通じて平和を」と櫻田ガバナーの「心と心、笑顔と笑顔 今 奉仕のために行動を起こそう」という地区テーマをしっかりと理解したうえで、伊貝会長のテーマ「奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成」の実践に向けて、委員会が一丸となり活動していく考えです。奉仕プロジェクト委員会の役割は、地元および海外の地域社会を支援する教育的・人道的プロジェクト、ならびに職業奉仕プロジェクトの立案と実施を援助することです。地域社会との交流、ほかの団体やボランティア、各委員会と協力し、特に次世代を担う若者たちへの支援活動を中心に行いたいと思いますので、会員の皆様のご支援とご協力の程宜しくお願い致します。

【社会奉仕委員会】

委員長 中 井 理 文

副委員長 泉 敬

委 員 小野寺 寛 隆 平 澤 秀 樹

会長方針の中に、ロータリーは性善説に立脚した奉仕の心が全てと考えます。奉仕の心を持ち、行動し、目標を達成し喜びを感受しましょうと記しております。

今年度当委員会は、地域の解釈を国際社会における日本を地域と位置付け、環境問題（原発問題を含む）、そして東北大震災に対しての復興支援のあり方、今後の釧路地区における危機管理の重要性等、それぞれのロータリーアンがどう貢献できるのか研究し、奉仕活動を行います。

【職業奉仕委員会】

委員長 田 中 正 己

副委員長 黒 田 恒 史

委 員 木 下 正 明 小 田 静 司

水 野 哲

職業奉仕は、ロータリーの第2の奉仕部門であり、すべてのロータリアンがそれぞれの職業を通して、社会奉仕することであり、また、あらゆる職業に携わる中、奉仕の理想を生かし、規範となる実例を示す。

その中にはあらゆる職業において尊敬される者としての立場を生かし、従業員、同僚、地域社会全体に模範を示すことで、高い倫理基準を推進することです。職業奉仕は、職業倫理の確立、維持向上をはかり、平素の職業活動に取り組むことが真の職業奉仕であると考えます。

今年度、会長方針である「奉仕の心 奉仕の行動 奉仕の達成」のテーマに今一度ロータリアンの原点に帰って活動していきたいと思います。

職 業 宣 言

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜乃至特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

【国際奉仕委員会】

委員長 舟 木 博
副委員長 脇 弘 幸
委 員 谷 川 富 成 齋 藤 史 行

当委員会は、対外的な交流と地元に住んでいる外国人たちと広く交流する機会を作り、ロータリアンとしてより広い視野と知識を深める活動をしてゆきたいと考えております。

- 1) 従来行われていた交換留学生の受け入れ、及び留学について再考する。
- 2) 台湾中央R Cとの友好クラブとしての効果的な付き合い方を考える。
- 3) 釧路在住の外国人を一同に集めた、催しの企画を考えてみる。

以上を参考にして、担当例会を行いたい。

【新世代奉仕委員会】

委員長 登 坂 康 弘
副委員長 浅 川 正 紳
委 員 米 本 富 夫 三 浦 仁 嗣
小船井 修 一 大 道 光 肇

「奉仕の胞子を育てよう」、会長基本方針の中に掲げられた一文です。

正に、新世代の育成こそがロータリーの未来を明るくするものだと考えます。

今年度、当委員会では“クロス・プロモーション”で新世代奉仕を考え、その活動を推進していくことを目的とします。

1. ローターアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流
2. ライラセミナーへの参加
3. 釧路ロータリーカップアイスホッケー大会の開催
4. 全道中学硬式親善野球大会（釧路大会）の開催

ロータリー財団・奨学推進委員会

委員長 反 保 裕 文

副委員長 武 石 光 樹

昨今、日本経済は変わらず「六割経済」の道に進んでいるように感じられます。又、デフレ経済がより加速しデフレスパイラルになってきているようにも思われる中、昨年の東日本大震災は会員各社にもまだ影響が少なからずある事と推察いたしますが今年度の当委員会には「ロータリー財団寄付推進委員会」「嵯峨記念育英会」「米山記念奨学会委員会」という三委員会が属しております。今年度の会長方針に国際奉仕に繋がる寄付への実践が掲げられており、米山月間、ロータリー月間などを通じて財団並びに奨学会への存在意義を理解して頂けるような活動をしていきたいと考えております。又、海外の留学生を支援する米山奨学会、地元の高校生を奨学支援する当クラブ独自の嵯峨記念育英会が永続的に運営できるように資金（基金）の確保に努めていきたいと思っております。大変厳しい経済環境下ではありますが、メンバーの御理解とご協力をお願い致します。

【ロータリー財団寄付推進委員会】

委員長 石 田 博 司

副委員長 下川部 善 彦

委 員 山 本 壽 福 石 井 宏 昌

稲 澤 優

今年度会長方針のもと、以下の項目に重点を置き活動して参ります。

1. ロータリー財団への年次基金へ「毎年あなたも100ドルを」達成計画
2. マッチング・グラントの検討

【米山記念奨学会委員会】

委員長 本間 榮 一

副委員長 栗 林 延 次

委 員 山 下 義 則 山 下 幸太郎

- 1) 米山記念奨学会の歴史と活動内容のPRに努め、理解を深める。
- 2) 米山記念奨学会への寄付は従来通り計画する（チャリティーゴルフコンペ予定）
- 3) 特別寄付金への協力を呼び掛け、米山功労者、準米山功労者、米山ファンドフェローの増加に努める。

【嵯峨記念育英会】

委員長 滝 越 康 雄

副委員長 浅 川 了 一

委 員 栗 林 定 徳 吹 谷 浩 康
乗 山 徹

当委員会は第2500地区の中で唯一クラブ独自の育英会として、本年度も引き続き育英事業の推進に協力致します。

1. 今年度の奨学生の採用は4名とし、武修館高等学校と湖陵高等学校、江南高等学校の三校、各学校長の推薦者より選考し、公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会で決定します。
2. 毎年度、会員の皆様をお願いしておりますが、当育英会委員会としては、今後、奨学生を増加するための財源確保を計りたく、会員皆様の寄付金およびクラブとしての特段のご協力をお願い致します。
3. 新しい奨学生を当例会に招待し、会員の皆様に激励していただきます。また、奨学生が卒業する際には、例会に招待し記念品等を贈り祝福いたします。



S・A・A 川 合 隆 俊

副S・A・A 武 藤 勝 治

会長方針を尊重し、例会及び諸会合が和やかに、かつ楽しい雰囲気のもと、秩序正しく運営される様に常に心掛けて行きます。

1. ゲスト及び来訪ロータリアンを温かく迎え失礼の無い様に心掛けます。
2. 新入会員には早くメンバーに馴染める様サポートして行きます。
3. 例会が円滑に運ぶ様に会場の整備、座席配置の工夫、食事のメニュー等、親睦活動委員会と連携して考えて行きます。
4. 歴史と伝統のある当クラブの品位と威厳をそこなわない様に気を使って行きます。

＊ 例会最中の私語は慎みましょう。

＊ 公式会合にはロータリーバッジを着用しましょう。